

平成 27 年度 発達障害理解推進拠点事業  
成果報告書（概要版）

実施機関名（ 栃木県教育委員会 ）

1. テーマ

小・中・高等学校の通常の学級における発達障害のある児童生徒の指導を充実させるため、拠点校における研修会等の実施及び県内の優れた授業実践事例を県内全域に周知することにより、すべての教員の専門性向上を図る。

2. 問題意識・提案背景

本県では、平成 23 年 3 月に教育行政が今後 5 年間で目指す基本方向を示した「とちぎ教育振興ビジョン（三期計画）」を策定し、その中に「特別支援教育の充実」を位置付け、小・中・高等学校の通常の学級における発達障害のある児童生徒への指導の充実に向け様々な取組を行ってきた。

すべての教員の専門性の更なる向上を図るためには、研修会等の開催や優れた実践事例をまとめた指導資料の作成・活用により、通常の学級における発達障害のある児童生徒への適切な指導の在り方について更に理解促進を図る必要がある。

3. 拠点校について

○ 拠点校一覧

設置者	学校名（ふりがなを付すこと）
なすしおぼらし 那須塩原市	くろいそしょうがっこう 黒磯小学校

○ 理解推進地域内の学校一覧

設置者	学校名（ふりがなを付すこと）
栃木県内各市町	県内全域の公立小学校（377 校）
栃木県内各市町	県内全域の公立中学校（163 校）
栃木県	県内全域の公立高等学校（61 校）

4. 拠点校における取組概要

平成 26 年度に引き続き、「すべての児童がわかったという実感がもてる授業づくり～通常の学級における特別支援教育の研究～」という学校課題を設定し、特別支援教育コーディネーターを中心に、学年ブロックごとに指導方法等の研究に取り組んでいる。

また、近隣の小・中学校の教員を対象とした授業研究会の実施などをおして、地域における特別支援教育の推進校の役割を果たしている。特に、児童の進学先となる隣接する中学校とは、小・中学校における指導の一貫性・連続性を図るため、同じ学校課題を設定した上で、共に授業研究を進めている。

## 5. 主な成果

拠点校においては、平成 26、27 年度の 2 年間にわたり、校内研修及び授業研究会の際に得た大学教員からの助言を踏まえ、児童同士の関係性を育み、安心感を高める指導・支援の実践に取り組んだ。そのことにより、発達障害のある児童も含めたすべての児童が、安心して学校生活を送ることができる環境を整えることができた。さらに、隣接する中学校との連携により、義務教育 9 年間の一貫した連続性のある指導の実現も図られるようになってきた。

また、県教育委員会では、通常の学級における特別支援教育の基本的な考え方について内容を整理した上で、平成 26、27 年度にわたり拠点校及び推進校で行われた授業実践の中から、安心感を高める指導・支援の効果が顕著に現れた場面を抽出し、指導資料（映像資料付き）にまとめることができた。

さらに、県教育委員会と大学との共催により、教員や保護者等を対象とした「特別支援教育普及啓発セミナー」を開催し、大学教員による講演会や拠点校及び推進校の中から小・中・高等学校各 1 校の優れた授業実践を発表することにより、通常の学級における「子ども同士の関係性を育み、安心感を高める指導・支援」の在り方について理解啓発を図ることができた。

## 6. 今後の課題と対応

拠点校においては、これまでの取組の成果を踏まえ、より一層研究を深めていくとともに、一貫した指導体制を確立するために、進学先となる中学校との効果的な連携について継続して研究していく必要がある。

また、拠点校等における優れた取組を県内全域に普及啓発するために、会議や研修等において、本事業で作成した指導資料の活用を推進するなどし、教員の専門性の更なる向上を図っていく必要がある。

## 7. 問い合わせ先

組織名：

- |             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| (1) 担当部署    | 栃木県教育委員会事務局特別支援教育室                 |
| (2) 所在地     | 栃木県宇都宮市埴田 1 丁目 1 番 20 号            |
| (3) 電話番号    | 028-623-3381                       |
| (4) FAX 番号  | 028-623-3399                       |
| (5) メールアドレス | tokubetsu-shien@pref.tochigi.lg.jp |